

하다못해

せめて、少なくとも

最低限これだけでもという譲歩を示す副詞です。日本語の「せめて」に当たります。

■ つけ方

状況	形	例
副詞	하다못해	文頭や語の前
後ろ	最低限の要求	-라도・-만이라도
よく組む語	-라도	인사라도
近い形	적어도	より客観的
続けて書く	一語	하다못해 (하다 못해 △)
原義	하다 못하다	しきれない

■ -다 못해 どう違うか

最低限の要求を示します。하다못해 인사라도 했어야지 (せめて挨拶くらいはすべきだった)。

5級の -다 못해 とは別物です。そちらは 참다 못해 (我慢しきれず) という限界の超過。하다못해 は一語の副詞で「せめて」の意味です。語源は同じでも用法が分かれています。

-라도 とよく組みます。「せめて〜でも」の形で、最低限の代案を示します。

不満や叱責の文脈で使われることが多い形です。「それすらしないのか」という含みです。

■ 例文

- 1 하다못해 전화라도 한 통 했어야지요.
せめて電話の一本くらいはすべきでしたよね。
- 2 하다못해 미안하다는 말 한마디는 있어야 하지 않나.
せめてすまないという一言くらいはあるべきではないか。
- 3 하다못해 이거라도 가져가세요.
せめてこれだけでも持って行ってください。
- 4 하다못해 자리라도 지켰더라면 좋았을 텐데.
せめて席だけでも守っていれば良かったのに。
- 5 하다못해 부품 하나라도 직접 만들어 봤어야지요.
せめて部品一つでも自分で作ってみるべきでしたよね。
- 6 하다못해 인사만이라도 하고 갔으면 좋았을 것을.
せめて挨拶だけでもして行けば良かったものを。

■ 紛らわしいもの

-다 못해
5級の項目で「しきれずに」という限界です。하다못해 は「せめて」の副詞です。
참다 못해 (限界) / 하다못해 (せめて)

적어도
「少なくとも」で客観的です。하다못해 は不満の色があります。
적어도 세 명 (数量) / 하다못해 인사라도 (要求)

그나마
「それでもまだ」という副詞です。하다못해 とは方向が違います。
그나마 다행이다

■ まちがえやすい点

- X 하다 못해 인사라도
○ 하다못해 인사라도
副詞なので続けて書きます。
- X 하다못해 다 했어요.
○ 하다못해 인사라도 하세요.
最低限の要求と組みます。
- X 참다못해 — 誤りではありません
○ (참다 못해 が原則)
こちらは限界の意味で別の形です。